

# 平成24年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### 地域の現状と課題について

担い手の高齢化、不足は毎年の課題となっています。地域の現状を地域の20代～50代の世代に知っていただくために子育て支援ネットワークや年代別をターゲットとした講座を開催し、地域の福祉保健活動を啓発しました。

課題のある町会については、地域ケアプラザの機能と利用について、所内(地域活動交流と地域包括支援センター)で連携して積極的に支援や声掛けなどをして、一緒に地域の福祉保健活動を推進しました。

担当地区からはケアプラザに行くのに坂を上り下りしなければならないため、こちらから積極的に出向いて、住民にケアプラザを広く周知する必要があります。そのため、24年度は介護予防講座をケアプラザから遠方のお寺の会館を借りて開催しました。

単身者用賃貸マンションが多い町会があり、把握や地域との関係作りが引き続き課題となっています。

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

指定管理者として、公の施設を公正・公平に管理しました。

常に快適な施設を目指し、地域住民の方が安全に安心して地域ケアプラザの利用ができるように、設備等の保守点検を専門業者をお願いし、定期的に行いました。

月1回の委託業者による定期清掃のほか、職員も日常清掃・整理整頓に心がけ、備品管理、警備、そして、ヨコハマ3R夢プランの推進を目指しました。

施設の周辺と3階の緑地帯の剪定や除草を年1回、専門業者に依頼し、衛生上はもちろん、外観を整備しました。

施設衛生においては、感染症・食中毒予防などに力を入れ、全館の手すりやドアノブなどの消毒にも努めました。

#### イ 効率的な運営への取組について

常に節水、節電や資源の有効活用に関心がけ、資源の日常的な無駄を省く努力を職員一同継続しました。

日常的に使用する消耗品についても、インターネット上で価格を常に確認しながら、安価なものを比較、検討して購入しました。また、事務処理に関しても法人本部と連携して効率的に取組みました。

#### ウ 苦情受付体制について

法人では、公正・中立の立場から、第三者委員会を設置して、適切な苦情解決に向けて整備しています。

「苦情相談対応マニュアル」を適宜見直し、苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して苦情受付の体制を整え、その情報を職員間で共有して改善に努めました。スタッフが利用者の相談を適切に対応できるよう、外部研修に参加し、窓口（苦情相談窓口、ご意見箱、ホームページでの受付など）だけでなく、日頃から意見を言いやすい環境、関係づくりを目指しました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」について、適宜見直しを行い、職員に周知し、共有化を図りました。

災害時特別避難場所としての役割を再度見直し、区役所担当者と情報交換する機会を設け、連携を深めました。災害備蓄物資の消費期限等のチェックを行いながら整備し、適正な管理に努めました。

年2回の避難誘導訓練を行い、終了後には必ず消火器の使用方法を確認しました。今年度は初めて津波を想定した避難訓練を行い、防災委員会を立ち上げ、緊急時に更に必要と思われる物品の確認や施設内の点検方法等について話し合いを重ねました。

緊急連絡網を適宜更新しました。

AEDの設置に伴い、備品の使用期限や日頃からチェックを行い、整備しました。

夜間はセキュリティシステムが稼動しています。

貸室利用団体対象に、避難時の説明と避難訓練を行いました。

#### オ 事故防止への取組について

「事故防止マニュアル」を見直し、職員に周知し、共有化を図りました。

業務中にヒヤリとしたことや、ハッとしたことがあった場合には、今後も事故につながる可能性が非常に高いため、その日のうちにスタッフミーティングで報告・注意喚起すると共に防止策を検討して、記録を残し、事故の未然防止に取り組みました。

職員が日常的に点検や目視を行い、事故の発生予防に心がけ、必要に応じて修理しました

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

年度の半ばに全職員に対して「個人情報保護取り扱い意識確認チェックリスト」を実施し、常に緊張感をもって対応するように心がけました。

個人情報に関わる書類等は、すべて書庫に施錠して保管管理しています。

不要となった情報については、シュレッダーを使用して破棄することを徹底しました。

事業所等への個人の報告等は郵送を基本とし、FAXでの送信の場合は2名でのダブルチェックの徹底をしました。

携帯電話は使用時、暗証番号の入力を必要とし普段はロックがかかっています。

会議では度々、個人情報とは、また取り扱いについての注意を促しました。

#### キ 情報公開への取組について

本会のホームページや広報紙において、事業内容や決算報告等を公表しています。またホームページでも各事業の情報を随時更新して広報を行いました。神奈川県介護サービス情報公表システムや横浜市の施設情報案内に情報を提供しています。必要に応じて内容を適宜更新しました。各事業に関しては、2ヶ月に一度広報誌を発行し、町内会へ回覧や掲示板に、また地域の集まりの際には広報誌を配布し事業の説明を行い、地域の方に広く周知するようにしました。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

横浜市の取組みに準じて、冷暖房の温度設定、軽装での執務、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源オフ、ブラインド等の使用などの取組みを推進しました。ヨコハマ3R夢プランに基づき、貸し館利用者にもゴミの持ち帰りの協力をお願いしました。個人情報が含まれていないかを確認してから、使用済み紙の裏紙を有効に活用しました。随時、職員会議等でゴミの分別等について確認する時間を設け、職員の分別に対する意識を高めました。職員一同、節水や節電に積極的に心がけました。施設の緑化に力を入れ、ボランティアの協力も得て、花壇の維持管理を行いました。恒例の「宮崎まつり」には、資源循環局の職員にもほぼ毎年参加していただき、来場者がごみの分別などの相談をしていました。また、おまつりで出たゴミもきちんと分別をし、来場者にも分別をお願いしました。

## 介護保険事業

### 介護予防支援事業

<p><b>職員体制</b> 3職種（看護師1名・主任ケアマネジャー1名・社会福祉士1名）で介護予防支援業務に従事しました。</p> <p><b>目標</b> 利用者に達成目標と支援レベルを明らかにし、また、客観的な必要性と本人の要望のすり合わせにより、自立や介護予防を促すように支援しました。</p> <p><b>実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）</b> ありません</p> <p><b>その他（特徴的な取組、PR等）</b> 公正中立な立場、細やかな対応を心がけています。区役所をはじめ、関係機関との連携体制を整えました。</p> <p><b>利用者実績</b> <span style="float: right;">【単位：人】</span></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>121</td> <td>121</td> <td>127</td> <td>129</td> <td>125</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>117</td> <td>120</td> <td>118</td> <td>123</td> <td>116</td> <td>112</td> </tr> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	121	121	127	129	125	118	10月	11月	12月	1月	2月	3月	117	120	118	123	116	112
4月	5月	6月	7月	8月	9月																								
121	121	127	129	125	118																								
10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
117	120	118	123	116	112																								

### 居宅介護支援事業

<p><b>職員体制</b> ・管理者... 1名(常勤兼務)      ・介護支援専門員... 3名(常勤専従3名)</p> <p><b>目標</b> ・在宅生活を継続するために、必要なサービスを適切に利用できるように、利用者や家族の依頼を受けて、居宅サービス計画を作成しました。 ・適切なサービスが提供されるよう、サービス担当者会議を開催し、担当者から専門的な意見を求め、調整しました。 ・サービス提供開始後は、毎月1回以上訪問することで、状況を把握（モニタリング）し、心身や環境の変化に応じた適切なサービスが提供されるように、居宅サービス計画を見直ししました。</p> <p><b>実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）</b> ありません</p> <p><b>その他（特徴的な取組、PR等）</b> ・各種講習会・研修会に積極的に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めました。今年度は主任ケアマネジャー研修に参加し、次年度より主任ケアマネジャーを配置できるようになり、より質の高いケアマネジメントを目指します。 ・ケアプラン作成後も利用者様・家族様と連絡を取り、相談しながら必要なサービスを提供できるように支援しました。 ・地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターと連携し、積極的に支援困難ケースの受入れを行い、必要に応じてすぐサービスを導入し、専門性の高い対応を心がけました。</p> <p><b>利用者実績</b> <span style="float: right;">【単位：人】</span></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>66</td> <td>65</td> <td>58</td> <td>56</td> <td>55</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>57</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>51</td> <td>53</td> <td>56</td> </tr> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	66	65	58	56	55	54	10月	11月	12月	1月	2月	3月	57	55	56	51	53	56
4月	5月	6月	7月	8月	9月																								
66	65	58	56	55	54																								
10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
57	55	56	51	53	56																								

## 通所介護事業

### 提供するサービス内容

通所介護サービス計画の作成  
生活指導（相談援助）  
日常機能訓練（日常生活動作）

介護サービス（食事、排泄、介助等）  
健康状態の確認  
レクリエーション 送迎 給食 入浴

### 実費負担（徴収した項目ごとに記載）

#### 1割負担分

（要介護1）	635	円		
（要介護2）	747	円	（要介護3）	858
（要介護4）	970	円	（要介護5）	1,082
食費負担	700	円	（おやつ代含む）	
入浴負担	53	円		
サービス提供体制強化加算	13	円		

事業実施日数 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

提供時間 10:00 ～ 16:10

### 職員体制

管理者 1名（常勤兼務1名）  
生活相談員 4名（常勤兼務4名）  
看護職員 3名（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）  
介護職員 14名（常勤兼務4名、非常勤10名）  
機能訓練指導員 3名（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）  
運転業務職員 4名（非常勤4名）

### 目標に対する取組状況

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立した日常生活ができるようサービスを提供しました。

### その他（特徴的な取組、PR等）

音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。

口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れていました。

食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。

食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。

嗜好調査：契約時、ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。

お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で共有、検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。今回はウォシュレット機能付便座にすべて交換しました。

レクリエーションの充実：園芸・手工芸・マージャンなどご自身で選択していただきました。また好評なアニマルセラピーボランティアに継続的に訪問活動していただきました。

毎月季節にあわせた薬湯週間を設け、好評でした。

10月よりサービスの利用時間の延長を開始しました。

### 利用者実績（延べ人数）

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
598	630	620	634	618	600
10月	11月	12月	1月	2月	3月
619	607	531	487	531	558

## 介護予防通所介護事業

### 提供するサービス内容

介護予防通所介護サービス計画の作成      健康状態の確認  
 生活指導（相談援助）                      サービス計画に基づいた機能訓練  
 送迎・入浴                                      レクリエーション                                      給食

### 実費負担（徴収した項目ごとに記載）

#### 1割負担分

（要支援1）                                      2,213円（月額）

（要支援2）                                      4,432円（月額）

運動器機能向上加算                              238円（月額）

#### サービス提供体制強化加算

（要支援1）                                      51円（月額）

（要支援2）                                      102円（月額）

食費負担    700円（おやつ代含む一食につき）

事業実施日数      週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

提供時間              10:00      ~      16:10

### 職員体制

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

### 目標に対する取組状況

楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートしました。

### その他（特徴的な取組、PR等）

音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。

運動機能の充実：運動器機能向上加算を取り入れ、より個別に対応して機能向上を目指しました。機能訓練用に階段昇降台なども整備しました。

口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れました。

食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。

嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対する意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。

食事の充実：「給食委員会」で毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。

お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で共有、検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。

レクリエーションの充実：園芸・手工芸・マージャンなどご自身で選択していただきました。また好評だったアニマルセラピーボランティアに継続的に訪問活動していただきました。

毎月季節にあわせた薬湯週間を設け好評でした。

### 利用者実績（契約者数）

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	110	111	102	131	107
10月	11月	12月	1月	2月	3月
111	117	103	109	102	101

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

平日は就労している家族が相談しやすいように、土日祝日を含めて毎日、地域包括支援センター職員が1名以上は出勤する体制をとりました。

生活上課題がありながら、具体的な関係機関に結びついていない方に対し、継続して訪問や電話連絡による状況確認を行い、必要に応じた情報提供及び支援を行うなどの対応をしてきました。また、民生委員児童委員から相談があった場合は、必要に応じて同行訪問することで、対象者に受け入れやすい対応方法をとりました。

介護保険に関する相談だけでなく、高齢者を取りまく家族の問題（精神障がい等）についても、専門の関係機関と連携をとりながら対応しました。

こどもの相談に関しては、親が子育て支援事業に参加中に、気軽に相談できるような関係作りにも努めました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

月1回の会議で、情報の共有・連携等を行い、必要な情報を適宜、伝達して情報共有と、問題解決に繋げました。地域情報についても、施設内での共有に努めました。また、机の配置も配慮し、日常からすぐに連携できるような体制作りをしています。

共催事業を行い、参加者の状況を共有しながら、必要な支援をしていきました。こういった連携で支援者に目に見えた効果がありました。

地域にも一緒に出向いて、ケアプラザの周知や顔の見える関係作りに努めました。その結果、今まで声のかからなかった単一町内会の活動に声がかかり出向きました。

個別の課題にも連携、共有して取り組んでいきました。

### 3 職員体制・育成

退職者もなく、基準を満たした配置を継続しました。

各事業の専門性に関する研修に参加した他に、更に違う分野での専門性に関する研修にも積極的に参加して、スキルアップに努めました。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

今年度は課題別に第4地区民生・児童委員協議会と学習交流会を行い、実活動に向けて相互に情報交換、共有に取り組み、実施しました。

第1・4地区社協活動などの地域の福祉保健活動に企画段階から参加し、情報交換、共有しました。また活動についての相談を受け支援を行いました。

第1地区支えあい連絡会より活動を行っている「まもり隊」活動の事務局として、活動情報紙の作成、関係機関（3小学校（戸部・西前・本町）、警察署、戸部交通安全協会、警察OB会、地域振興課など）と地域の情報交換、共有の場を開催しました。ボランティア交流会を開催し、ボランティア同士の活動を知り、お互いに協力し活動が出来ないかなどの情報交換や、活動にプラスになるような講座を行いました。

貸室利用団体が地域の福祉保健活動に協力できることと活動内容を、地域の皆さんに知っていただくために、協力貸室利用と地域との交流会を企画、運営しました。

地域の子育て支援の場や担い手が増え、それぞれの顔（担い手、子育て中の親子、関係機関）が見える関係づくりを行い、企画の段階から話し合い、共催して子育て支援事業を行いました。

## 5 区行政との協働

地域支援メンバーとして、にこまちプランに基づき、区役所・社会福祉協議会・自立支援協議会などへ協力して、障がい者の避難所体験や余暇支援活動などに参加して地域住民とのつながりの一助として努めました。

子育て支援拠点として事業を展開しました。

ケアプラザ連絡会や日頃からのやり取りの中で、お互いの情報を共有し連携しました。

主に個別支援について、区役所との定例カンファレンスを毎月開催し、役割分担を確認しながら支援を行いました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域の最新のインフォーマルサービスの情報収集を行い、閲覧できる情報を提供しました。

毎年、貸室利用団体、ボランティア登録者・団体リストの見直し、最新リストを作成し地域の関係者などへ提供しました。地域との交流会は2月に開催しました。奇数月年6回発行の広報紙「みやざき」毎月発行の「まもり隊ふれあい情報通信」を発行し、町内回覧や掲示、活動当事者へ直接配布を行いました。

貸室利用団体やボランティア登録者(個人、団体)に、地域や福祉施設での福祉保健活動のニーズを提供し、活動に繋がりました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域福祉保健活動団体の利用を促進するため、PR 広報(広報紙、チラシ、館内や地域掲示板への掲示など)活動をしました。また、使いやすいように様々な使い方を提案しました。

空き室情報を利用者にわかりやすいように、随時館内掲示でお知らせしました。

福祉保健活動のニーズを定期的に情報紙で提供しました。その結果、地域や他施設など様々な場で福祉保健活動をして頂きました。

### 3 自主企画事業

生活習慣病予防、改善を目的とした新規事業では、横浜体育協会、FANCL の協力を得て開催しました。参加者には、体調や体重の改善や意識付けなどがみえました。新規事業、認知症予防サロンを開催しました。参加者の状態に明らかに変化が見え、事業目的の認知症の予防と現状維持・現状改善の目的がほぼ達成できていると思います。また、来年度も継続して開催して欲しいとの要望がありました。

また、この事業に伴いボランティア育成講座を開催、毎週活動して下さるボランティアを9名育成しました。

脳いきいきサロン、マージャンクラブなど男性の参加比率の高い講座が増えました。制度・サービスの狭間の方(行き場の無い障がい者の方など)の活動の場所が無い、との地域のニーズから、既存事業で受入れ、他の参加者の方と楽しく活動を行えました。また、顔の見える子育て支援ネットワークの活動・地域住民の交流事業とケアプラザ啓発の事業に力を入れ様々な活動に繋がりました。

自主化した団体と共催で、子育てサロンを定期的で開催、また地域での活動を支援し活動しました。



#### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティア講座 0B、自主化した団体へ活動支援を行い活動へ繋げました。地域ケアプラザのボランティアコーディネートの啓発、利用促進を地域や福祉施設に行い実活動へ繋げました。

認知症予防講座へのボランティア育成研修講座(9名)を開催し、また他講座内では地域のニーズから障がい者の受入れ態勢を整えるためボランティアの育成(5名)を行い、定期的な活動に繋がりました。

ボランティア活動のための情報紙を定期的に発行し、館内に掲示しました。

サブコーディネーターをボランティアコーディネーターとして育成しています。

今年度は区内全域でのボランティア育成ではなく、ケアプラザごとの活動となりました。

### 地域包括支援センター

#### 1 総合相談

##### 総合相談支援（総合相談）

地域の開かれた窓口をめざし、地域包括支援センターの職員が土日祝日を含めて、1名以上は出勤し、地域からの様々な相談に迅速に対応しました。

独居（日中独居を含む）の方や介護認定を受けていながら、介護サービスを利用していない方、地域との関係が希薄な高齢者、民生委員や区役所職員から依頼をうけた方など、様々なケースの高齢者に助言・訪問を適宜行いました。

介護保険に関する相談をはじめ、地域での様々な福祉・保健に関する相談に応じ、必要な機関への調整を行いました。

##### 総合相談（実態把握）

地域から個別相談を受けた後、サービス必要時に迅速に対応できるよう、継続して定期的に電話連絡や訪問を行うことで実態把握をしました。

民生委員児童委員の集会や地域の食事会など、地域の情報が集約される場所に積極的に参加し、ニーズを予測することで予防的対応をしました。

#### 2 権利擁護

##### 権利擁護（権利擁護）

個別相談から、高齢者の判断能力が低下していると思われる場合には、親族からの成年後見申立てが行われるよう支援しました。

成年後見制度の利用が必要と認められても、申立てを行える親族がいない、または、親族に申立ての意思が無い場合、区長申立てにつなげることを視野に区役所に状況報告をしました。

#### 権利擁護（高齢者虐待）

虐待の疑いがある対象者には、区役所やケアマネジャー、サービス事業所等と連携し、情報の共有と客観的に全体像の把握を行い連携しながら対応しました。地域住民に虐待について理解していただけるように情報提供していきながら、早期発見・予防に努めました。

#### 権利擁護（認知症）

民生委員の方を対象とした「認知症サポーター講座」を区と協力して開催しました。脳いきいきボランティア講座の「認知症を知る」の講師を職員が担当しました。「介護者のつどい」で「認知症サポーター講座」を開催 17名の参加者がありました。地域の見守り活動をしている西二やすらぎ会・第4地区シニアクラブの方向けに「認知症サポーター講座」を開催しました。地域の小学生・高校生向けの「認知症サポーター講座」に認知症キャラバンメイトとして参加しました。「介護者のつどい」の中で、「認知症サポーター講座」を開催し、地域住民に認知症の理解や、地域での支え合いの重要性を伝えました。

### 3 介護予防マネジメント

#### 二次予防対象者把握

自主事業・総合相談・出前講座・おまつりなどを通じて、基本チェックリストを目標 95名に行い、二次予防対象者の把握に努めました。二次予防事業対象者の1名の方のケアマネジメントを行い改善されました。

#### 介護予防ケアマネジメント力

要支援者が要介護状態にならないように区役所やその他の関係機関と連携して、日常生活における課題の早期発見に努めて、適切な支援に努めました。要介護状態になっても本人の意志や家族の意向を尊重したうえで、残存機能を活かしながら在宅生活が継続できるように支援に努めました。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

#### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域で行われている高齢者食事会やお茶会、お祭りなど地域に出向く機会を通じて、連携の推進や地域ニーズの把握を行ってきました。今年度も担当地区民生児童委員協議会と学習交流会を行い、実活動に向けて、相互に情報交換、共有に取り組み、気軽に相談できる関係づくりができました。

#### 医療・介護の連携推進支援

近隣の医療・介護サービスの関係機関との顔の見える関係づくりに努めました。一人暮らしの方や、要介護認定を受けていながら介護サービスを利用していない方について、月1回の区役所との定例会議や民生児童委員等と連携して継続的に支援に努めました。

## ケアマネジャー支援

西区内の4包括支援センターの主任ケアマネジャー共催の勉強会(ケアマネサロン)を年10回毎回20名程度の参加で開催しました。活発な交流、意見交換、情報共有の場として定着しています。

日頃から、ケアマネジャーの個別相談にのれる関係作りに努め、安心して相談できるようになりました。

先輩ケアマネジャーが開催するサービス担当者会議に、新人ケアマネジャーに参加してもらい、お互いの学びや気づきの場にしました。

## 介護予防事業

### 介護予防事業

高齢者が自ら「介護を必要とする状態になることを未然に防止し、できるだけ身体の機能を維持・改善すること」を目指しました。年1回(4回コース)の「体力向上プログラム」を実施しました。内容は、基本チェックリスト・介護予防体操・口腔機能の向上・栄養・フットケアで構成しました。ケアプラザの遠方にある地域へ出向き、お寺の会館を借りてプログラムを開催しました。

新規事業、認知症予防サロンを開催しました。参加者の状態に明らかに変化が見え、事業目的の認知症の予防と現状維持・現状改善の目的がほぼ達成できていると思います。また、来年度も継続して開催して欲しいとの要望がありました。

## その他

自らの体力を知り健康維持に役立てられるよう、秋に体力チェック測定会を区役所の保健師も協力して開催しました。

# 平成24年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:宮崎地域ケアプラザ

平成24年4月1日～平成25年3月31日  
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	18,330	23,460	64				
	介護保険収入				6,470	9,871	69,079	8,754
	その他							
	職員給食費	7	160			167	559	
	委託料(認定調査)					189		
	事業参加負担	2,100	161					
	<b>収入合計(A)</b>	<b>20,437</b>	<b>23,781</b>	<b>64</b>	<b>6,470</b>	<b>10,277</b>	<b>69,638</b>	<b>8,754</b>
支出	人件費	13,747	19,822			15,467	49,497	
	事務費	6,321	1,203			5	10,551	
	事業費			64				
	管理費	4,045	2,431			503	11,793	
	その他							
	施設使用料相当額						3,990	
	他居介支委託料				3,765			
<b>支出合計(B)</b>	<b>24,113</b>	<b>23,456</b>	<b>64</b>		<b>15,975</b>	<b>75831</b>		
<b>収支(A)-(B)</b>	<b>-3676</b>	<b>325</b>	<b>0</b>	<b>2,705</b>	<b>-5,698</b>	<b>-6193</b>	<b>8,754</b>	

介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。  
上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

# 平成24年度 自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①介護者のつどい	目的：介護者の情報交換や憩い・リフレッシュの場 内容：介護者や介護の経験のある方の交流・リフレッシュ ※年2回「あけぼの会（西区・介護者のつどい）」との交流会を含みます。	通年 偶数月と3月 合計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②介護予防サロン	目的：高齢者の介護予防・憩いの場 内容：エアロビクス・脳トレ	通年月2回（1月・2月は閉館日及び悪天候の為に1回） 合計22回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
③フラダンス講座 ゆっくりコース（地域交流と共催）	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します 内容：フラダンス	通年 合計21回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
④秋の体力測定会	目的：自らの体力を知り健康づくりに役立てる 内容：暮らしぶりチェックリスト・身長・体重・握力・血圧・血管年齢測定・血管年齢の話	11月28日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑤権利擁護事業（4包括社福）	目的：権利擁護について普及啓発 内容：高齢者の暮らしについての講義 虐待についての寸劇・講義	H24. 12. 13 H25. 2. 27 合計2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑥ケアマネジャー学習交流会	目的：ケアマネジャーのスキルアップ・交流・支援 内容：地域で活動するケアマネジャーのスキルアップ・交流・支援；うち1回は民生委員との交流会あり。	月1回（4月、1月除く）合計10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑦宮崎まつり	目的：福祉保健活動 内容：リラクゼーションルームのなかで、アロマオイル体感、ハーブティ飲食、ハンドリフレクソロジー体感	10月13日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑧今がチャンス！継続はやせるなり（地域交流と共催）	目的：体重や生活習慣病の検査値を減らすことを目指す 内容：講義・体力測定・ヨガ・プール・ウォーキング	通年 合計21回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑨障がい児余暇支援（自立支援協議会余暇支援分科会共催）	目的：西区内の同世代の障がい者たちとの交流の場。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容：餅つきを中心とした活動。	1月27日

# 平成24年度 自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ 定期事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「いきいきサロン宮崎」	目的：家庭に閉じこもりがちな高齢者に外出の機会をもち、仲間同志の交流を図る。また、高齢者同士の見守り、CPとのかかわりも方も随時伝えていく場。介護予防啓発 内容：会食会、レクレーション他	毎月第2水曜日 11:30～14:00 12回開催
子育て支援事業 「わくわく親子プラザ」	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：季節に合ったプログラムや親子レク、食育、座学他	毎月第1月曜日 10:30～12:00 12回開催
子育て支援事業 「みやざキッズ」	目的：未就学の乳幼児の親子を対象にしたフリースペース。公園などの遊び場の減少・遊び場の安全などの地域の課題を踏まえての開催。 内容：未就学児親子フリースペース	毎月 第1月曜日 12:30～17:00 12回開催
子育て支援事業 「ぼっ・ぼっ・ぼっwithみやざキッズ」	目的：乳幼児親子同志とおはなし会ボランティアグループ・CP職員の交流の場。 内容：親子サロン+乳幼児のおはなし会を開催する。CP職員が子育て相談などを行う。読み聞かせ、手遊びなどで交流を図る。	原則毎月 第3月曜日 10:30～12:00 12回開催
子育て支援事業 「天使のほっぺ」	目的：0歳児親子を対象。お母さん同士とCP職員との交流の場。子育ての相談・支援。 内容：サロン型を中心に、赤ちゃん体操や子どもの発達、離乳食の座学や子育ての情報交換など。	毎月 第3水曜日 10:30～12:00 12回開催
子育て支援事業 「パパあのおね!!」	目的：お父さん同士とCP職員との交流の場。地域の担い手として啓発。 内容：お父さんならではのダイナミックな体を動かす遊びを中心に、子どもとの関係性や遊びの意味を学びながらコミュニケーションを図る。	毎月 土曜日1回 10:30～12:00 12回開催
癒しのフラダンス講座 (包括と共催)	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。健康な体をつくる健康な心をつくる健康への意識づけ 地域住民の交流の場 様々な世代の交流の場 内容：フラダンス	原則毎月第2・4月曜日 10:30～12:00 20～24回開催
地域支援事業 「ワンコイン音楽サロン」	目的：「歌う」「新しい歌を覚える」ことで体と心の健康を作りを支援します。地域住民・異世代交流の場 内容：毎月の歌と継続して歌い覚える歌の指導	毎月第3土曜日 13:30～15:30 12回開催

# 平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：平成16年度地域支えあい連絡会にて地域の声があがり、平成17年度4月より活動を開始した、子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動内容：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支えあい連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政（警察・消防署・区）との連絡調整、また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り・防犯活動は町内会単位でほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校分毎月発行。
事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいき 宮崎マージャン クラブ	目的：マージャンをツールとした介護予防・引きこもり防止 異世代交流・地域交流をメンバーで図る 内容：宮崎地域CP版のルールを作り、参加者でマージャンを楽しむ。メンバー同士の交流。	毎月第2・4 土曜日 13:30～17:00
事業名	目的・内容	実施時期・回数
Boy'sキッチン ワーカーズ	目的：男性の上級者向け料理教室。料理をツールとした福祉保健活動を行う。 内容：献立を考え、レシピを見て料理を作る。	毎月第2月曜日他 10:00～13:00 12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のための料理教室	目的：男性の初心者向けの料理教室 内容：包丁の持ち方から、食材の切り方、調味料の計量の仕方、レシピの見方など料理の基本から簡単な食事を作る。	毎月第3水曜日他 10:00～13:00 12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
お菓子づくりボランティア「パティシエ・ガールズ」	目的：お菓子をツールとした福祉保健活動を行う。 内容：地域住民の集まる活動(講座や地域のイベント)にお菓子を作り提供する。	毎月第1土曜日他 10:00～12:30 13回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきサロン	目的：公文の学習療法を用いた、認知症の予防・改善を目指したサロン 内容：公文の学習療法・参加者同士、サポーターとの交流他	毎週火曜日 13:30～15:30 40回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
今がチャンス!! 継続はやせるなり講座	目的：生活習慣病といわれる病気の検査値や体重を正常値になるよう、参加者や職員と励まし合いながら目指します。 内容：毎日の生活により生活習慣を提案して継続していく。ウォーキング・ヨガ・アクアビクスな	毎月第1・3 木曜日 13:30～15:30 全23回

# 平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
花を楽しむ講座	目的：異世代の交流の場、地域交流、引きこもり防止 内容：プリザード・アレンジなどお花を通した活動 精神的な安定を図る	毎月第3 火曜日1回 13:30～15:30 12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
きちんと弾けるようになるウクレレ講座 スケールとコードをきちんと弾けるコース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。健康な体をつくる健康な心をつくる健康への意識づけ地域住民の交流の場 様々な世代の交流の場 内容：ソロが弾けるようになるため、コードとスケールをきちんと学ぶ。	毎月第2・4土曜日 18:00～18:45 10回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
きちんと弾けるようになるウクレレ講座 初歩の初歩コース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。健康な体をつくる健康な心をつくる健康への意識づけ地域住民の交流の場 様々な世代の交流の場 内容：ウクレレの持ち方から、基本を学ぶ。 簡単なコードで曲が弾けるようになる。	毎月第2・4土曜日 19:00～20:30 12回・10回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しみながら韓国語講座	目的：異文化交流・異世代交流・地域交流 C Pを知らない世代への啓発、情報の提供 内容：楽しみながら異文化を学び、あいさつなど日常の簡単な会話を学び習得する 活動している中で、C Pの情報を提供していく	毎月第2・4 木曜日 10:00～11:30 10回開催



# 平成24年度 自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ 単発事業

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月	まもり隊 全体会	目的：昨年度の活動の振り返りと今年度の活動の確認。 内容：各種関係機関との情報交換・交流。 活動の確認や課題解決に向けた話し合い。	10日(火) 10:00~12:00 1回
	小学生 親子パン作り教室	目的：①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流 内容：パンを作る。異学年・異小学校・異世代の交流を行った。	28日(土) 10:30~14:30 1回
	こどもカップケーキ 作り教室	目的：①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流 内容：カップケーキを作り、デイサービスの高齢者を訪問する。②異学年・異小学校・異世代の交流	29日(日) 10:00~12:00 1回
5月	脳いきいきボラン ティア講座	目的：脳いきいきサロンのサポーターを育成する。 地域の認知症のサポーターを育成する。 内容：高齢者・認知症のことを学び、支援の仕方を学ぶ。 公文の学習療法を学ぶ。	8日・15日・22日 (火)13:30~ 15:30 全3回
	貸室団体説明会・交 流会	目的：貸室の利用の変更に伴う説明と災害時の対応説明。 貸室団体同士と職員の交流を図る。 内容：貸室利用確認・貸室団体同士と職員の交流と災害時の避難訓練	20日(日) 10:30~13:30 1回
6月	幼児安全支援員養 成講座	目的：地域の子育て支援の方に、日本赤十字社の基礎講習と幼児安全法を学んでいただく。 内容：乳幼児に起こりやすい事故、病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当と予防を、人工呼吸・心臓マッサージAEDを用いた除細動などを習得します。	19日・7月3 日・17日(日) 10:00~12:00 全3回
	第2回 脳いきいき宮崎 マージャン大会	目的：マージャンをツールとした介護予防・引きこもり防止 参加して下さった方を単発事業から定期事業へ繋げる。 内容：マージャン大会	30日(土) 13:15~17:30
7月	中学生のボラン ティア講座	目的：中学生のボランティアスタートのきっかけづくり、また地域の新しい担い手としての発掘の場。開催 内容：1~2回目は高齢者・障がい者・子育て支援/CPの役割を学ぶ。3回目は各関係機関に協力頂きボランティア体験。 内容：①ボランティアとは②地域CPとは③高齢者支援④障がい児者支援⑤子育て支援⑥地域支援活動について学び、ボランティア活動をします。	24日(火)~ 25日(水) 10:00~12:00 30日(月)~ 8/10日(金)の うち1日体験 8/11(土)
	地域コミュニケーシ ョン講座 「歌舞伎鑑賞と昼食 のお誘い」	目的：「歌舞伎」をツールに地域住民を集め地域ケアプラザを知って頂き交流を深める。 内容：地域ケアプラザを知る 地域住民同士の交流 歌舞伎鑑賞	7/27(金) 12:00~17:00 1回
	障がい児余暇支援 (自立支援協議会余 暇支援分科会共催)	目的：西区内の同世代の障がい児たちとの交流の場。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容：小学生対象の余暇支援、プールを中心とした活動。パンづくり他	中止

# 平成24年度 自主事業報告書

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
8月	ケーキフラダンス講座	目的：小学生にCPの啓発を行う。フラダンスを通してデイサービス高齢者との交流をもつ。異学年、異小学校児童の交流。 内容：①フラダンスを学ぶ②参加者同士の交流 ③デイサービスへの訪問・交流	中止
	小学生の自由研究教室	目的：①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流 内容：貝やブリザードフラワーなどを使ったタペストリーなど	3（金） 10：00～12：00 1回
	パパとママの乳幼児救急法	目的：乳幼児の現役パパとママにいざという時に備えて救急時や起こりやすい事故、病気の手当と予防を学ぶ。 内容：乳幼児に起こりやすい事故、病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当と予防を、人工呼吸・心臓マッサージAEDを用いた除細動などを習得します。	26日（日） 10：00～12：00 1回
9月	子育て支援イベントみやざき	目的：子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。職員や地域子育て支援者とのコミュニケーションの場。 内容：縁日	15日（土） 11：00～13：00 1回
10月	第13回宮崎まつり	目的：①地域住民とCPの交流の場。②地区社協と共催することで地域住民との繋がりを深めていく。③CP啓発。 内容：福祉保健活動をなされてる地域住民や障害者施設、団体による模擬店。貸室団体による催し物など	13日（土） 11：00～14：00 1回
	大人の社会科見学	目的：バスハイクを通して地域住民、職員との交流 内容：関東周辺のバスハイク	未定
12月	子どもクリスマス講座	目的：小学生に地域ケアプラザを知っていただく。 異学年・異小学校・異世代の交流 内容：ケーキを作り、デイサービスの高齢者を訪問する。	未定
1月	異世代交流サロン	目的：異世代交流による住みよい地域づくり 幼稚園児と高齢者が交流することで、地域に戻ってからの関係作りも期待する。高齢者自身も地域の幼稚園児を意識した生活を送ることで、声掛けや見守りの活動を進んでしてくれます。また、幼稚園側も地域に興味を持ち地域のことを知るうと様々な活動に協力してくれる。 内容：高齢者と幼稚園児の交流 レクリエーション 会食会	未定
	障がい児余暇支援（自立支援協議会余暇支援分科会共催）	目的：西区内の同世代の障がい者たちとの交流の場。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容：餅つきを中心とした活動。	未定
2月	ボランティア交流会	目的：当ケアプラザにてボランティア活動をしている方・団体と地域の協力団体との交流の場。CPIは日頃の活動中のご意見などを集約する場。様々な方・団体のボランティア活動を知り、情報交換し連携することで、地域の中での福祉保健活動をしやすい環境を作る 内容：情報提供 情報交換 職員とボランティアの交流	未定
3月	地域と貸室利用団体交流会	目的：貸室利用団体の地域への福祉・保健活動への支援。と共に地域や当CPでのボランティア活動への啓発や貸館利用者同士の情報交換の場。地域との交流の場。 内容：貸室利用団体への福祉保健活動啓発・意識づけ 貸室利用団体のネットワークづくり 地域住民へのボランティアコーディネートの周知 地域住民と貸室団体の交流	未定

## 平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象 延べ参加人数 一人当たり参加費	自主事業決算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者 しあわせサロン宮崎 毎月第2水曜日	70歳以上の一人暮らし・日中独居 75歳以上の高齢者世帯 504人 500円他実費	474,083	66,283	407,800	7,777	447,511	18,795
子育て 親子わくわくプラザ 毎月第1月曜日	1歳～未就園親子 523人 原則なし	54,913	45,613	9,300	5,555	27,084	22,274
子育て みやざキッズ フリースペース	未就学親子 なし なし	0	0	0	0	0	0
子育て ぽっ・ぽっ・ぽっWith みやざキッズ	未就園親子 306人 なし	32,839	32,839	0	26,679	0	6,160
子育て 天使のほっぺ 毎月第1金曜日	0歳児親子・プレママ 193人 原則なし	18,712	18,712	0	0	11,992	6,720
子育て パパあのね！ 毎月土曜日	1歳～未就園父子 204人 原則なし	27,463	27,463	0	0	20,743	6,720
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン 毎月原則第3土曜日	地域住民誰でも 452人 500円	221,318	19,318	202,000	155,656	57,157	8,505
地域 フラダンス講座 ゆっくり (包括と共催) 全12回・全10回	地域住民誰でも 206人 全12回 10000円 全10回 9000円	104,488	24,488	80,000	97,768	0	6,720
地域 楽しみながら韓国語講座 全10回	地域住民すべて 38人 全10回 5000円	67,273	4,273	63,000	62,040	5,233	0
地域 花を楽しむ講座 全12回	地域住民すべて 135人 全12回 6000円	60,000	1,000	59,000	60,000	0	0
地域 脳いきいき宮崎マージャンクラブ 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 543人 1回200円	102,040	1,040	101,000	0	102,040	0
地域ボランティア育成 脳いきいきボランティア講座 単発 全3回	地域住民誰でも 46人 1000円	31,314	13,314	18,000	25,226	6,088	0
高齢者 脳いきいきサロン 毎週火曜日	地域住民誰でも 718人 月4回 2500円	444,014	149,014	295,000	31,500	285,602	126,912
地域 男性のための料理教室 毎月第3水曜日	男性ならだれでも 62人 500円	35,357	1,857	33,500	0	28,637	6,720
地域 Boy'sキッチンワーカーズ 毎月第2月曜日	男性ならだれでも 59人 500円	27,247	1,247	26,000	0	27,247	0

## 平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象 延べ参加人数 一人当たり参加費	自主事業決算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
小学生 親子パンづくり教室 単発 1回 4/28	小学生親子 23人 500円	4,916	916	4,000	0	4,356	560
小学生 子どもカップケーキづくり教室 単発 1回 4/29	小学生以上 8人 300円	2,682	282	2,400	0	2,122	560
地域 脳いきいき宮崎ナイトマーじゃん 単発 1回 4/28	地域住民誰でも 26人 300円	7,208	408	6,800	0	7,208	0
地域 まもり隊全体会 単発 1回 4/10	活動者 50人 なし	0	0	0	0	0	0
地域 貸室団体説明 単発 1回 5/20	貸室利用団体 86人 なし	5,567	5,567	0	0	5,007	560
地域 貸室団体交流会・災害時避難訓練 単発 1回 5/20	貸室利用団体 66人 なし	12,894	12,894	0	0	12,894	0
子育て支援 幼児救急指導員講座 単発 全3回 6/26～28	子育て支援者 36人 1500円	26,190	11,190	15,000	0	22,190	4,000
地域 第2回宮崎マーじゃん大会 単発 1回 6/30	地域住民誰でも 27人 500円	13,439	939	12,500	0	12,879	560
中学生 中学生のためのボランティア講座 全4回 7/24・25 7/30～8/10 Vor活動8/11	区内在住中学生 20人 なし	4,665	4,665	0	0	2,985	1,680
地域 歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い 単発 1回 7/27	地域住民 29人 3800円	131,699	1,699	130,000	0	131,139	560
子ども ケーキフラダンス講座 全3回 8/2・9・16	小学生以上 中止	0	0	0	0	0	0
子ども 子ども自由研究教室 単発 1回 8/3	小学生以上 20人 1000円	21,000	5,000	16,000	5,000	16,000	0
障がい児・者 障がい児余暇支援 単発 1回 7/30	小学生 中止	0	0	0	0	0	0
子育て支援 パパとママの幼児救急法 単発 1 8/26	未就園児親子 26人 100円	560	-940	1,500	0	0	560
子ども・地域 みやざき縁日 単発 1回 9/15	地域住民 なし なし	49,294	19,734	29,560	0	47,894	1,400

## 平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象	自主事業決算額					
	延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域 宮崎まつり 単発1回 10/13	地域住民誰でも なし なし	193,494	113,494	80,000	26,111	164,583	2,800
地域 大人の社会科見学 単発1回 未定	地域住民誰でも 39人 5000円	200,925	7,175	193,750	0	199,805	1,120
地域 今がチャンス!!継続はやせるなり講座 毎月第1・3木曜日 全23回	地域住民誰でも 377人 6000円	163,691	19,691	144,000	122,300	27,881	13,510
子ども 小学生のリース作り講座 単発 12/8	小学生 12人 1000円	16,085	7,085	9,000	5,000	10,525	560
子ども お〜きくなったかな全員集合 単発 12/23	小学生 35人 なし	12,184	12,184	0	0	11,624	560
障がい児・者 お餅つきだよ!全員集合 単発 1/27	障がい児者 67人 なし	0	0	0	0	0	0
地域 新春!宮崎マーじゃん大会 単発 1回 1/5	地域住民誰でも 30人 1000円	30,155	2,155	28,000	0	29,595	560
地域異世代交流サロン ふれあい交流会 単発 1/28	地域住民 49人 なし	8,954	8,954	0	0	8,394	560
地域 みやざきショータイム 単発 2/24	貸館利用者 なし なし	10,456	10,456	0	0	9,056	1,400
地域 ボランティア交流会 単発 3/16	当CPボランティア 25人 なし	10,456	10,456	0	0	9,896	560
地域 きちんと弾けるようになるウクレレ講座 スケールとコードが弾けるようになるコース 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 16人 6000円	20,819	2,819	18,000	20,819	0	0
地域 きちんと弾けるようになるウクレレ講座 初歩の初歩コース 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 33人 10000円	97,010	6,143	90,867	53,410	33,100	10,500
		2,745,404	669,427	2,075,977	704,841	1,788,467	252,096

事業ごとに別紙に記載してください。

